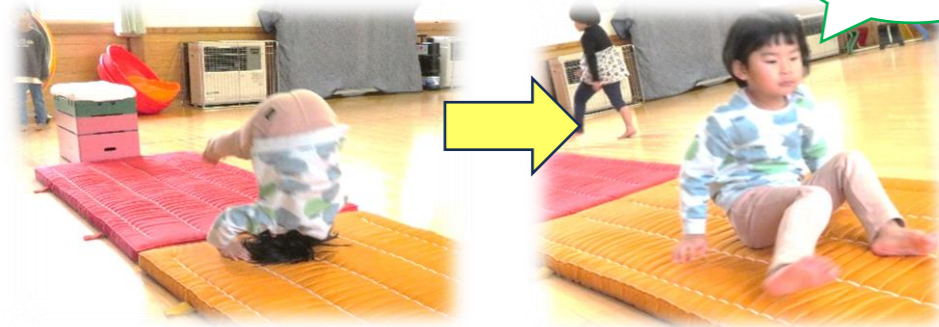




運動遊び

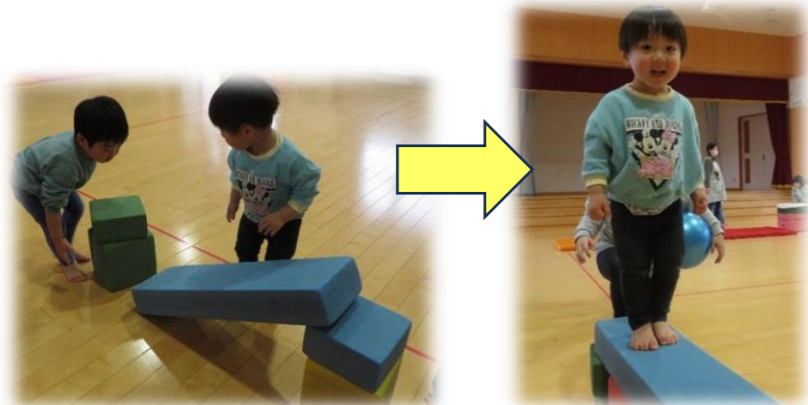


でんぐり返し
できた!

跳び箱をした後に、でんぐり返しをする歌花ちゃん。最初は上手に回れず悔しそうにしていたのですが、何度も挑戦するうちに上手になりました。周りで見ている友達も「歌花ちゃん頑張れ〜!」と応援していました。



大きいこあらさんが、跳び箱やでんぐり返しをしている姿を見て、未来ちゃんと瑠辰くんも挑戦しました。「怖いよ・・・」と言いながらも何度も楽しんでいました。



俊介くんがブロックで橋を作ろうとしていました。そこへ、瑠辰くんが来て「一緒に作ろ!」と声を掛けて、二人で作ることにしました。「ここをこうしたらいいよ」「そうだね」とまるで大工さんのようなやり取りをする二人。試行錯誤して橋ができると、満足そうな表情で遊んでいました。自分が思ったことを伝え合いながら楽しく遊んでいます。

氷遊び

園庭の砂場の様子



凍ってそうだね

氷なのかな?



冬囲いしている砂場に雨水が溜まり、凍っていることに気付いた杜和くんと明慈くん。窓に近付いてじっと見ていました。「どうして凍ったのかな?」「本当に氷かな?」などと、不思議に感じたことを話合っていました。雪が積もっていないため、まだ雪遊びはできませんが、室内から雪や氷を見たり、風の冷たさを肌で感じたりしています。子ども達は「早く雪遊びしたいな」と心待ちにしています。

水と氷だ!

後日...



ペットボトルに水を入れ、一晩テラスに置いてみました。翌日、水の表面に薄く氷が張っていました。ペットボトルを持つと「冷たい!」と喜ぶ子ども達。保育士が「手を洗う水とお外にあった水、どっち冷たいかな?」と聞くと、声を揃えて「お外にあったお水!」と言いました。



凍った水を直接触ってみた子ども達。「氷って綺麗だね」「お外が寒いから冷たくなったんだね」「気持ちいいね」など、感じたことをたくさん教えてくれたり、友達と話し合ったりしていました。

つめた〜い!



氷水にずっと手を入れていた俊介くん。「わあ!手が冷たいよ!」と言って素敵な表情を見せてくれました。



氷水に興味津々の子ども達。氷を手を持って「蝶々みたいな形」「トウモロコシに見えるよ!」「船みたいだね」と様々なものに見立てていました。今回できた氷はあっという間に溶けてしまいましたが、「もっと寒くなったら、もっと氷ができるかな?」「次は雪の結晶が見れるかも」等とワクワクした様子の子も達でした。